

最上川沿川6市町村の水防団長と水防団を 取り巻く課題に関わる意見交換を行いました

新庄河川事務所では、管内で冬期の降雨による融雪出水などの多様な洪水が発生しており、水防活動が果たす治水上の役割は重要性を増している反面、水防活動を取り巻く課題が顕在化しているため、5月27日、最上川沿川6市町村の水防団長に出席していただき、新庄市内で意見交換会を行いました。

河川整備が進み、以前に比べ洪水被害の発生頻度が少なくなっていることを反映し、

- 1) 水防活動の必要性や使命感に対する意識の低下
- 2) 水防工法等に対する技術力の維持
- 3) サラリーマン化や若者の減少による水防団員の確保

が大きな課題として指摘されました。

これらは各水防団に共通する課題であり、対応策として、「技術力の維持」については水防工法に関する講習会の実施に関する要望、「水防団員の減少」については機能別団員制度の導入や女性団員の募集などの対応事例が紹介されました。

新庄河川事務所では、今回の東日本大震災により防災に対する自助努力の住民意識が一層高くなっている今、水防活動の更なる充実を図ることが望ましいと考えており、今後、山形県及び市町村とも連携しながら、地域の安全・安心を守るため、水防活動に対する協力・支援を行っていきます。

- | | |
|----------|--|
| 1. 意見交換会 | ①河川の概要と出水状況の説明
②最近の水防団の活動状況の報告
③意見交換 |
| 2. 出席者 | 別紙のとおり |
| 3. 主な意見 | 別紙のとおり |

<発表記者会：新庄新聞放送記者会>

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所
TEL 0233-22-0251
副所長(技術) 高橋 孝男 (内線204)
管理課長 須藤 純二 (内線331)

水防に関する意見交換会 出席者名簿

【水防団】

所 属	氏 名
新庄市消防団長	浅 沼 喜治郎
尾花沢市消防団長	柳 橋 莊三郎
大石田町消防団 副団長	遠 藤 好 和
舟形町消防団長	加 藤 憲 彦
大蔵村消防団長	鈴 木 君 徳
戸沢村消防団長	伊 藤 一

【山形県】

所 属	氏 名
最上総合支庁 建設部次長(兼)河川砂防課長	鈴 木 健 治
村山総合支庁(北庁舎) 北村山河川砂防課長 代理：北村山河川砂防課 課長補佐	土 屋 文 明 佐 藤 裕 之

【国土交通省 新庄河川事務所】

所 属	氏 名
事務所長	花 岡 正 明
副所長(技術)	高 橋 孝 男
調査課長	安 部 剛
管理課長	須 藤 純 二
鳥越出張所長	佐 藤 重 也
大石田出張所長	嶋 原 吉 隆

【 意見交換会での主な意見 】

1. 最近の水防活動における実態

- ◇以前は、大雨による洪水により水防団が出動し土のう積みや排水作業も多かったが、近年の河川改修の進捗により、水防活動は少なくなり、水防団の危機意識も低下している。
- ◇水防活動の経験がない団員が多く、水防活動が経験豊富な団員に集中しており、適切な水防活動ができないことがあった。
- ◇住民の避難を伴う洪水の発生もあり、特に夜間における人的・資材調達面での対応は困難なものがある。
- ◇内水被害を受けやすい地区では、独自に排水ポンプ及び電源車両を配備して対応している。

2. 水防活動を行うための課題

- ◇水防実践経験者の不足もあり、水防知識や技能の伝承が困難になっている。
- ◇水防や水防工法に関する知識や技術の指導が必要である。
- ◇水防団の社会的役割を理解してもらい、会社等での勤務への配慮が必要である。
- ◇サラリーマン団員等の増加により参集人数が不足している。
- ◇長期間水害が発生していないため、経験不足により水害への対応が住民、水防団共に難しくなっている。

3. 水防団員の確保に対する方策

- ◇住民の減少が続いているので、団員の確保が厳しい状況にある。
- ◇会社などで働いている方が多く、休みが取りにくいいため団員も減少している。
- ◇消防活動など防災活動の中で特定の役割や活動に限定して参加する機能別団員制度の導入や女性団員による後方支援によって水防活動の円滑化を図った。

4. その他の意見

- ◇水防資材の備蓄が十分でなく、資材調達が困難な状態にある。
- ◇今後はハザードマップを活用して沿川住民の意識改革と安全を担保するための避難訓練などを実施していく必要がある。

5. 河川管理者としての対応など

- ◇水防工法に関する技術の習得や訓練は国・県も積極的に連携し支援していく。
- ◇緊急時の水防資材については国・県でも提供するとともに、水防倉庫の設置場所が十分周知されていないため、河川管理者、市町村、水防団で情報共有を図っていく。
- ◇女性団員募集についても若手団員確保へ繋がるという副次的効果への期待もある。
- ◇さまざまな課題解決のためには、今後、防災教育の重要性が益々高くなると認識している。
- ◇東日本大震災により自助努力に対して意識が高くなってる今、水防活動を充実させることが望ましいと考える。

水防に関する意見交換会



最上広域交流センター ゆめりあ

ダム下流の河川の状況を見ながら、安全な流量で放流しています。

ダムが放流すると、河川の水位がグッと上がってくる。



尾花沢市水防団長の発言



山形県の説明